資料5

市長会の運営に関するアンケート調査結果

１　市長会海外事業について

（１）実施方針及び要綱に基づき、令和８年度までアジア諸国を調査先として海外事業を継続することについて

① 原則毎年度実施するが、事業内容について見直しを行う　4 市

＜見直しの内容＞
・実施期間の短縮、及び執行経費を縮小することで参加しやすい事業とする。（岡崎市）
・テーマによって関心ある市は参加、そうでなければ不参加、と判断する自由度を高めるために、(2)の回答と重なりますが、大きく市長会負担を減らし、市負担を増やすことを提案します。（一宮市）
・原則開催とした上で、毎年開催の可否を判断する。原則開催としないと開催が難しくなるため。（小牧市）
・当初の趣旨は、訪日客の誘客や販路拡大等のトップセールスだったものが、近年は視察や調査が主たる行程となっている。今一度、当初の目的に戻り、トップセールスを主とした事業内容に見直しを行う。（東海市）

② 調査を要する課題が特に生じた場合など必要に応じて実施する　14 市

③ 海外事業は廃止する→(2)は回答不要　2 市

④ 現行のままでよい　18 市

（２）市長会による海外事業の費用負担について

① 費用負担の見直しを行う　8 市

＜見直しの内容＞
・参加市数の状況を勘案して、原則参加市の費用負担とするなどの検討をすべきと考える。（名古屋市）
・全額市長会負担とする。（岡崎市）
・市長会負担の割合を減らし、市負担の割合を増やす。（一宮市）
・かかった経費を参加する市で負担するなど、負担割合を再考すべきではないか。（半田市）
・一人当たりの視察費を削減したうえで、市長会の負担割合を少なくする。（江南市）
・廃止するか、参加自治体の全額負担で実施する。（豊明市）
・参加者による負担：市及び個人負担（日進市）
・参加市の費用負担割合を多くする。（北名古屋市）

② 現行のままでよい　29 市

２　市長会議について

（１）年に２回、市制施行順により開催することについて

① 各市の開催に係る負担を考慮し、輪番制を見直した方がよい　12 市

＜補足コメント＞
・開催場所に苦慮する自治体もあることから、名古屋市内で開催してはどうか。（弥富市）

② 現行のままでよい　26 市

（２）視察について

① 視察の実施の有無は開催市の判断による　23 市

② 視察は廃止する　6 市

＜補足コメント＞
・開催市が会場にて”まちの紹介”を行えば、視察を廃止できるのでは。（弥富市）

③ 現行のままでよい　9 市

（３） 懇談会費用について

① 各首長の意向によって公費・私費の選択ができるよう、会費制とする　20 市

＜補足コメント＞
・公費か私費かは各市ばらばらではなく統一した方がよい。（稲沢市）
・ただし、会費制とする場合は、選択制とせず、県内統一の会費制にしてほしい。また、豪華な食事を避けたり、飲酒代を会費制にする等段階的に協議してほしい。（岩倉市）

② 現状のままでよい
（各市からの負担金などを財源として、市長会より支出する）　17 市

＜補足コメント＞
・内容については華美にならないようにし、酒類の提供については控えるのが望ましい。（江南市）

◎ 選択肢以外の回答　1 市

・公費か私費かの選択ではなく、公費なら公費、私費なら私費で統一するべき。（常滑市）

３　各種セミナーについて

（１）市長セミナーについて

① 県内でセミナーを実施（1日間）　3 市

② 廃止する　2 市

③ 現行のままでよい　28 市

④ その他　5 市

＜内容＞
・実施の形式にかかわらず、内容が重要であると考えます。（豊橋市）
・費用について、市長会の負担割合を減らし、市負担の割合を増やす。（一宮市）
・必要に応じて実施。（津島市）
・隔年で、県内でのセミナーと行政改革シンポジウムを開催する。（犬山市）
・県内又は隣接県で、1日間で実施。（豊明市）

（２）副市長セミナーについて

① 県内でセミナーを実施（1日間）　6 市

② 廃止する　0 市

③ 現行のままでよい　30 市

④ その他　2 市

＜内容＞
・実施の形式にかかわらず、内容が重要であると考えます。（豊橋市）
・必要に応じて実施。（津島市）

（３）幹事研修会について

① 県内でセミナーを実施（1日間）　5 市

② 廃止する　3 市

③ 現行のままでよい　27 市

④ その他　3 市

＜内容＞
・実施の形式にかかわらず、内容が重要であると考えます。（豊橋市）
・費用について、市長会の負担割合を減らし、市負担の割合を増やす。（一宮市）
・必要に応じて実施。（津島市）